



世界に希望を生み出そう

第2559号

# 高知東ロータリークラブ 週報

2月7日, 2024

本日 2月7日(水)18:30 得月樓

観梅夜間例会

次週 2月14日(水)12:30 ザクラウンパレス新阪急高知  
ゲストスピーチ

「物流の2024年問題で私たちの生活がどうなるのか」  
一般社団法人高知県トラック協会 専務理事 西村 伸矢氏

第2605回 例会報告 / 令和6年1月24日 天候 晴 職場例会

◇会長挨拶



皆さん、こんにちは。二、三日前から急に寒くなりました。災害に遭われた能登にも雪が降り、厳しい環境で生活しておられ、他人事とも思えず心配もしています。皆さんも、昼夜の寒暖差があり、体調には十分に注意してお過ごしください。

1月は職業奉仕月間です。クラブでは恒例の職場例会で、本日は牧野植物園にて開催させていただきます。園長の川原様には業務多忙の中、訪問させていただきお礼を申し上げます。また、職業奉仕委員会の皆さんには、準備や手配等でお世話いただきありがとうございました。

職場例会の目的は、訪問先の業務内容、経営方針、経営理念、そして、新たな事業の取

り組みなどを聞かせていただき、個人として、またそれぞれの事業において改善を行い、高潔さと倫理基準を高めるためのものとなっています。東クラブは、こちらの植物園ともご縁があります。3年前まで在籍していた水上さんは、牧野記念財団の理事長、兼務で当園の園長を務めており、京都から高知に連れて来て植物園の発展に寄与されました。クラブの業務に役立つ品物の贈呈もさせていただいています。

昨年11月の新聞に、牧野植物園の入園数のことが出ていました。4月以降の来園者が過去最多の30万人を突破、朝ドラ放送が終わって少し落ち着くと思っていたが、むしろぐっと増えて驚いていると掲載されていました。

本日のテーマは「コロナ禍から“らんまん”の効果そして今後の展望」です。楽しみにしています。川原園長様にはよろしくお願ひ申し上げます。



## 「コロナ禍から“らんまん”の効果 そして今後の展望」



私もこちらに来て3年が経とうとしていますが、来た年、2021年4月はコロナ真っ只中の状況でした。特に前の年、2020年には陽気のいい4月から5月にかけて、緊急事態宣言も発令され、植物園も1カ月の休園を余儀なくされました。ゴールデンウィークの期間中にお休みをせざるを得ないというのは、園にとっては非常に大きな痛手でしたし、せっかくいい季節なのにお客さんにも見ていただけないという状況は、忸怩たる思いが、当時の水上園長にはあったと思います。ただ、そういった中でも園のメンバーが、撮影をしたりあるいは動画を取ってアップしたりして、直接ではありませんが、レンズ越しに春の風景を皆さんには見ていただきました。

私が着任した年は、休園はありませんでしたが、やはりコロナの影響は大きくて、飛行機なども減便になり、一番ひどいときは東京便が1日1便しか飛ばないとか、乗ってもガラガラ。そんな状況から比べると、今は飛行機も満席に近いし、当園にもたくさんのお客様に来ていただいて、隔世の感があります。

そうなったきっかけは、やはり「らんまん」の放送が大きいと思います。今でも記憶に新しいのですが、2022年の2月の頭に、牧野博士のひ孫の一悖（かずおき）さんから、報道発表の二、三日前に「朝ドラに決まりました」と、突然電話をいただき非常に驚きました。その後、正式に報道発表があってNHKの撮影クルーの方が来られたり、そこからの2年間は目まぐるしい時間だったという印象です。

通常、2月の植物園は花も少ないので、ラン展などを温室で見いただけますが、報道があった午後ぐらいから、お客さんが来て、おめでとうと言ってくださったり、一緒に高知を盛り上げていきましょうというような言葉をかけていただき、我々も励みになったと

同時に、責任の重さをすごく感じて、嬉しさ2割、不安8割といった感じでした。

そこから、園内に牧野富太郎プロジェクトチームを立ち上げ、報道対応やお客様からの質問へのお答え等々、園をあげて対応してきました。入園者数は報道のあった日から急激に増えて、令和3年度は12万数千人ぐらい。それまでの牧野植物園の歴史を見ると、入園者数は大体15、6万人ぐらいでの推移が多くて、2008年の創立50周年の年に一大キャンペーンをして、20万4,000人という記録を立てたことがあります。当時は、もう20万人を超えることはほとんどないだろうと言われていましたが、2022年度、1年間の総入園者数が21万4,000人。「らんまん」の放送は4月からですので、放映前に既にこれだけのお客様にきていただいたということです。それだけ、NHKの朝ドラの影響は大きいんだということ、園の職員全員が実感しました。

去年は4月から放送が始まり、5月20日には新しい植物研究交流センターがオープン、5月末には日本植物園協会の大会が高知市で開催され、総裁であられる秋篠宮皇嗣殿下も来高されるなど、いろいろなことが短期間に集中して起こりました。その後、入園者数もどんどん増えて8月には20万人を超えました。月ごとの入園者数は、今までずっと5月が多かったのですが、「らんまん」の放送が終わった10月には5万5,000人という記録を打ち立て、さらに10月27日には30万人に達しました。

さすがに、この12月からは落ち着いてきていますが、現在39万人近いお客様にきていただいています。今後、2月にはラン展、3月にはフラワーショーというイベントがありますので、今年度、どのくらいの数になるかは予想すらできません。過去の例では、10年ほ

ど前に「龍馬伝」が放送されたときの龍馬記念館さんに44万人という入園者数の記録があるそうです。そこまではいかないかもしれませんが、それに近いぐらいの数になるのではないかと、これから次第かと思っています。

今までの来園者は、植物を眺めながら回廊などを歩いて、たまに立ち止まるぐらいだったのですが、今年度は「らんまん」に登場した植物に「らんまん」マークを付けるなどの工夫をしていたこともあり、お客様が植物の前に立ち止まって指を差したり、顔を近づけて観察される姿など、皆さん、植物に興味を持っておられるんだと実感できる光景が、多く見られ、我々も新鮮な驚きを覚えました。

園の目的としては、やはり牧野博士の業績をどんどん顕彰していくこと。市民の憩いの場である園地をしっかりと管理して、研究や教育普及などにも尽力をしていくこと。今回来ていただいたのは、団体のお客様が多くて、時間の制限があったりしましたので、今後は特に個人のお客様として再度訪れていただき、より深く牧野博士のこと、植物のことを知っていただく。そして、牧野植物園のサポーターになっていただくことができれば、い

いなと思っています。そのためにも、我々も原点に立ち返って、いろんな取り組みを来年度以降、続けていく必要があると思っています。

私は薬学の出身ということもあって、薬用植物の研究なども行っています。実際に大豊町で試験栽培も始めていますし、トウヒという薬用植物を使ったお菓子とか、牧野オリジナルブレンドティなど商品開発も行っていますので、微力ではありますが地域振興に少しでもつながっていければと考えています。

今後、入園者数は落ち着いていくとは思いますが、来年4月からは、やなせたかしさんご夫妻をテーマにした朝ドラ「あんぱん」が始まり、まだまだ高知県には多くのお客様が来ていただけると期待しています。そのためには、何度来ても高知はいいところだな、牧野植物園はいいところだなと思っただけのおもてなしを、園をあげて対応していく必要があると思っています。さらに、高知市や高知県と協力体制をとり、また、ロータリクラブの皆さんのお力添えもいただきながら、気運を上げていければと思っています。今後とも、よろしく願いいたします。



■高知東RC当面の日程

2月24日(土) ホタル会  
(土佐カントリークラブ)  
2月28日(水) 役員会  
3月6日(水) 定例理事会  
・情報集会  
3月12日(火)~14日(木) 18:30~ (得月樓)  
3月13日(水) 13:30~  
(ザ クラウンパレス)

3月20日(水) 休会 (国民の休日)  
3月27日(水) 役員会  
4月3日(水) 定例理事会  
4月10日(水) 例会変更  
11日(木) 8RC合同夜間例会  
(仁淀RC・ザ クラウンパレス)  
4月17日(水) 第5回 (次年度第1回) クラブ  
協議会 (次年度) (得月樓)  
4月24日(水) 役員会



● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合計
先週まで	960,700円	4,607円	965,307円
1月24日	7,000円	1,602円	8,602円
今期の累計	967,700円	6,209円	973,909円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	マイク アップ	HC出席率	出席率
1月17日	57	44	5	4	77.19%	83.02%
1月3日	休 会					

- 会長／吉永光男 ●幹事／中西克行 ●雑誌会報委員／関 淑公・岡崎勇樹・広瀬雅彦
- 例会日／毎週水曜日12:30PM~1:30PM ●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知 (088)873-1111
- 事務所／高知放送南館8階 〒780-0870 高知市本町3-3-39 直通 (088)824-8660
- ホームページアドレス(PC・携帯共通) <http://www.kochi-east-rc.com>
- メールアドレス 事務局/hcrrc@coffee.ocn.ne.jp 広報IT委員会/info@kochi-east-rc.com